

科目名	英語学概論			ナンバリング	COM241	授業形態	講義
対象学年	2	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	西村康平	担当教員					

授業の概要	言語学的分析の対象として英語を取り上げ、概説する。英語の歴史、形態、音声・音韻、統語、意味といった側面についての基本的な概念について理解し、分析する。						
到達目標	1. 英語の言語学的特徴に関する基本的な概念について、具体例を挙げながら説明できる。 2. 英語の言語事実(データ)について、自身での収集・観察ができる。 3. 英語の言語事実(データ)について、論理的に分析できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	教養学部専門教育科目(基本科目)「国際コミュニケーション」の「英語学」の回で学んだ知識に基いた講義を行う。履修者は復習を行っておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 英語の言語学的特徴に関する基本的な概念について、与えられた例を用いて説明できる。 2. 与えられた英語の言語事実について、論理的に分析できる。	1. 英語の言語学的特徴に関する基本的な概念について、具体例を挙げながら説明できる。 2. 英語の言語事実について興味深いものを自身で挙げ、論理的に分析できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
中間テスト・期末テスト	○	○				○	60%
授業態度・授業への参加			○	○		○	40%

課題、評価のフィードバック	中間テスト、期末テストはコメント、評価を記入した上で返却する。
---------------	---------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	英語を分析する目的について理解する。	
	第2回	英語の歴史(1)	英語の成立／系統	
	第3回	英語の歴史(2)	英語の歴史的変遷	
	第4回	英語の形態論(1)	英語形態論の基本／形態素分析／複合語形成	
	第5回	英語の形態論(2)	派生／屈折	
	第6回	英語の音声学(1)	英語音声の基本／母音の発音	
	第7回	英語の音声学(2)	子音の発音／音節構造	
	第8回	まとめ・中間テスト	第2回～7回の内容についてまとめ、中間テストを行う	
	第9回	英語の音韻論(1)	英語の音韻分析の基本／アクセント／イントネーション	
	第10回	英語の音韻論(2)	音素／異音／音韻変化	
	第11回	英語の統語論(1)	英語の統語分析の基本／統語カテゴリー	
	第12回	英語の統語論(2)	句構造／統語構造	
	第13回	英語の統語論(3)	語順／統語操作	
	第14回	英語の意味論(1)	英語の意味論の基本／意味素性	
	第15回	英語の意味論(2)	カテゴリー化／プロトタイプ／含意／矛盾	
	試験	第9回～15回の内容を範囲とした期末テストを行う。		
授業の進め方		配布プリントにそって授業を行う。プリント記載の練習問題を考えることで理解を確かめる。		
授業外学習の指示		【予習】配布プリントの指示された範囲の内容を確認し、練習問題について考えておく。(120分) 【復習】講義で学んだ重要なポイントについて、理解を確認しておく。(60分) (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	テキストは使用せず、プリントを配付する。
参考書	『First Steps in English Linguistics 英語言語学の第一歩 2nd Edition』影山太郎 他著、くろしお出版 ISBN: 978-4-87424-277-3
参考URLなど	
その他	講義に関する連絡事項や講義内容の補足などをManab@IMUに掲載する。受講者は随時確認すること。